

発寒ひかり
保育園だより

2022年
3月号

巻頭言

当園の保育の特色の一つに、『平和育』があり、目標の1つに「子ども自らが他者の命と人格を尊重できるようになる」とあります。難しく感じるかもしれませんが、身近な動物（いのち）に触れ親しむことや、愛される経験を通して信頼関係を築くところから、日常の中で感じたり考えたり、経験出来るよう配慮しているものです。

今、連日ニュースで、ウクライナに対するロシアの侵攻が伝えられており、予断を許さない状況が続いています。先日、きりん組（5歳児）に戦争の話しと絵本を読みにいきました。するとJ君が「あ、ウクライナでしょ」とのこと。きつとご家庭でもニュースなどから話題にしていたのでしよう。

私の話しが終わったあとにも、A先生とその話題が続いていたそうで、Y君が「（戦争を止めるためには）日本も『やめて』って言えばいいんじゃない？でも、そうしたらやられちゃうのかな・・・」と真剣な表情で考えていたそうです。

この時読んだ絵本の『せんそうしない（谷川俊太郎 文・江頭路子 絵）』の中に、「こどもとこどもはせんそうしない けんかはするけどせんそうしない せんそうするのはおとなとおとな じぶんのくにをまもるため じぶんのこどもまもるため でもせんそうすればこころされる てきのことどもがこころされる みかたのこどももこころされる」とあります。

これからの子どもたちを守るため、また、子どもたち一人ひとりが自分たちの未来を守ることが出来るよう、「平和」について一緒に考えていきたいと思います。

園長 阿部 尚子